

～ All for one, One for all. ～



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 222 号 —

2023 年 8 月 10 日発行

このような人は主のおきてをよるこび、昼も夜もそのおきてを思う。

このような人は流れのほとりに植えられた木の時が来ると実を結び、その葉もしほまないように、そのなすところは皆栄える。

詩篇 第一篇 二節～三節



2023 旭が丘ふれあい夏祭り (司会：利用者と職員)

巻頭言

猛暑日が続いた七月を経て梅雨が明け、本格的な夏を迎えました。一層強い日差しが照りつける毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

今号の外部寄稿は、長年にわたり東京光の家の監事を務めて下さいました藤田洋前監事に、「光の家 監事職を去るにあたり」と題して、ご寄稿頂きました。光の家の田中前理事長とともに、互いの社会福祉事業の苦しい時期を乗り越えられ、その後光の家の監事に就任され、光の家のためにご尽力くださいました。長きにわたり、東京光の家のことを気遣って頂き、ありがとうございます。

光の家では、コロナ禍に負けず、利用者の大きな楽しみの一つである外出行事も盛んに行われています。行事を楽しむ様子を掲載させて頂きましたので、ぜひご覧頂きたいと思えます。

(広報活動委員)

『光の家 監事職を去るにあたり』

東京光の家 前監事 藤田 洋



係にありました。こうゆう問

題があれば、誰も手を差しの

べて下さる方はありません。私

と家内と手を取り合って、田

中先生のお言葉に感謝の涙を

流しました。それからも厳し

い抗争は続きまして、当保育

園は市の斡旋により他に移譲

されました。しかし、その事が

あっても田中先生は変わること

なく慰めの言葉は続きまして。

係にありました。

題があれば、誰も手を差しの

べて下さる方はありません。私

と家内と手を取り合って、田

中先生のお言葉に感謝の涙を

流しました。それからも厳し

い抗争は続きまして、当保育

園は市の斡旋により他に移譲

されました。しかし、その事が

あっても田中先生は変わること

なく慰めの言葉は続きまして。

もって福祉そのものの志を追求
していかれました。創立者秋
元梅吉先生の信仰を受け継ぎ、
盲人に対する切れることない
福祉事業を神の業として生涯
を進めていかれました。

監事白井富士夫氏と共に器
たらずの私を監事として選ん
で下さいました。事業報告と
伴う会計報告はクリスチャン
の事業として不正はなくいつも
厳しくありました。田中先生
ご夫妻は永遠ではありません。

田中ノゾミ先生は二〇一一年五
月に召され、田中亮治先生は
二〇一八年二月に召されまし
た。「藤田さん困ったことがあつ
たら、相談ください」とおっしゃ
られた先生はおられなくなり、
生涯を通じ、これ程悲しいこと
はありません。しかし神はこ
うゆうことが起こる前に石渡
健太郎氏を導かれ二〇〇〇年
九月に赴任されました。田中
先生が召される前に側にいら
れ、よく助け、田中先生のご

意思を繋がれ、びくともしな
い経営を発揮され現在に至つ
ています。

それと、光の家創立百年記
念感謝式典があり、ますます
福祉事業は盤石の体制をもつ
て未来へと躍進していくでしょ
う。

詩篇一篇二節から三節をもつ
て終わりの言葉とさせていただ
きます。「主の教えを愛し、そ
の教えを昼も夜も口ずさむ人、
その人は流れのほとりに植え
られた木。ときが巡り来れば
実を結び、葉もしおれることが
ない。その人のすることはすべ
て繁栄をもたらず。」という如
く祝福の源である、「主の教え
を愛し、その教えを昼も夜も
口ずさむ人」、それは社会福祉
法人光の家そのものであること
を書かせていただき、三十五年
間の在職を思い出して擱筆し
ます。

書く前に、聖書の御言葉を

記したく思います。フィリピの

信徒の手紙二章二十五節「彼

はわたしの兄弟・協力者・戦

友であり、また、あなたがたの

使者として、わたしの窮乏のと

きの奉仕者となつてくれまし

た」甚だ申し訳ないのですが、
パウロが遣わされたエパフロ
デトの様な方が田中先生でし
た。電話一本で「何か困ったこ
とがあったら相談ください」と
は一九八四年の事でありました。
当時お互いに労働争議の真つ
只中にあり、多勢に無勢の関

が
マツサージホーム等の加設事業
が増え奥様であられる田中ノ
ゾミ先生と共に昼夜軒昂没頭
されたのです。機関誌 燈心を

が
マツサージホーム等の加設事業
が増え奥様であられる田中ノ
ゾミ先生と共に昼夜軒昂没頭
されたのです。機関誌 燈心を



第46回 東京光の家 チャリティーバザーに

物品提供を

東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力をお願いいたします。

★ 期日 一〇月九日（月）
一〇時より

★ 会場 東京光の家
旧伊勢丹倉庫

★ 提供品についての希望

日用品・おもちゃ・文具・雑貨品・食器・食品・衣料品（新品同様のもの）・古本・CD・DVD等

★ お断りしているもの

家具・中古の電気製品・布団・雛人形・五月人形・ゴルフセット・スキー等

★ 提供品受付期間

九月末頃まで

※ご連絡頂ければ回収にお伺い致します（多摩地区のみ）。



相澤忠一 顧問逝去

東京光の家の理事を長きにわたって務めて頂き、一昨年からは顧問として支えてくださった相澤忠一先生が、六月二十六日に逝去されました。

相澤先生は、昭和五十四年三月三十一日より令和三年六月二十六日までの約四十二年間にわたり、東京光の家の理事を務めて下さいました。

先生は、たびたび光の家に連絡を下さるなど、常に光の家を気遣って下さいました。

ご冥福をお祈り申し上げます。



2018 東京光の家クリスマス

光の家クリスマスの講話にて

藤田洋 監事 ご退任 藤田信 新監事 ご就任

令和五年度定時評議員会にて、これまで長年にわたり東京光の家の監事としてご尽力頂きました藤田洋監事がご退任されました。藤田洋監事は、昭和六十三年四月に、東京光の家の監事に就任され、三十五年にわたり、東京光の家をお支え頂きました。

新監事として、ご子息の藤田信氏が就任されました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



クリスマスの招待者挨拶にて

法人役員

理事長

石渡 健太郎

理事

亀岡寛治
小館美彦
杉山美穂
月本昭男
石渡幸美

監事

白井富士夫
藤田信

評議員

安藤 玲子
岩佐 玲子
梅田 俊幸
加藤 保武
澤田 研二
山下 公一
横引 公一

新生園

光の家新生園 一泊旅行

令和五年六月十五日(木)～十六日(金)
令和五年六月二十一日(水)～二十二日(木)
千葉県 木更津方面

新生園の旅行は、一泊で千葉県の竜宮城ホテル三日月に泊まり、房総観光地を楽しんできました。

初日は今やコンビニ等でも見かける八天堂でクリームパン作り体験、はちみつ工房では搾りたてのはちみつを試飲して来ました。甘い香りや味わいに、旅行ならではの体験ができ、一路、宿泊先へ。ホテルの部屋には半露天風呂が付いており、汐風を感じながらゆっくり浸かることができました。また夕食には鮑



ガオ～!! (東京ドイツ村)



観覧車はまだまだ上がるぞ!

の姿蒸しが提供され、豪華な食事に舌鼓しました。

翌日はコロナ禍で中々できなかった朝食バイキングを堪能し、

いざ東京ドイツ村へ。敷地面積が東京ドームの約十九倍もある広大なテーマパークにて、観覧車などの乗り物を楽しみ、沢山の動物や季節の花々に触れ、心も体も癒される旅となりました。

栄光園

光の家栄光園 ハイキング

令和五年五月十一日(木)
令和五年五月十八日(木)
令和五年五月二十三日(火)
神代植物公園
高尾山
神代植物公園

コロナ禍の行動制限も概ね解消され、栄光園でも従来のスタイルに戻ったハイキングを行うことができました。

今年度は神代植物公園を中心とした周辺散策、高尾山の二コースを設定。希望の目的地を選んでもらい、三日間に分けての開催となりました。どちらも



高尾山の冷涼な空気が気持ちいい!

お好みの昼食や喫茶はもちろん、バラの香りや、高尾山の冷涼な空気を存分に吸い込んで、これまでの行動制限を吹っ飛ばすような、楽しい外出の機会となりました。

一部の班では天気急変に見舞われたりもりましたが、開催後のアンケートには、久しぶりのハイキングを心から楽しんでもらった感想が綴られており、翌日からの仕事の英気を養う機会となりました。



この手作りソバ長いなあ～

神愛園
光の家神愛園
 一泊旅行
 令和五年七月十八日(火)～十九日(水)
 静岡県 浜名湖方面

今年はエクシブ浜名湖に利用者十名、職員八名、計十八名で行ってきました。一日目の浜松楽器博物館では伝統的な打楽器から、ハンドベル、現代のギターや電子ドラムなどまで様々な楽器に触れながら体験することが出来ました。エクシブ浜名湖ではイタリ안의すばらしい食事、お風呂やサウナなどを堪能し、ゆったりとした時間を過ごすことが出来ました。



電子ドラムを叩いてみました♪



浜名湖遊覧船上でバンザ〜イ!!!

二日目は浜名湖遊覧船やフラワーパークへ行き、昼食はウナギを食べました。フラワーパークではバラや様々な花の香りを楽しんだりお土産

を購入しました。浜名湖名物のウナギは旅行が決まった時から楽しみにされていた利用者もおり、お腹いっぱい食べることが出来大変喜ばれていました。体験食事としても満足した旅行でした。大変暑い中でしたが無事旅行が行えたことに感謝しております。



エクシブ浜名湖で全員集合!

就労ホーム
光の家就労ホーム
 一日外出
 令和五年六月十五日(木) 羽田空港

コロナ禍になってから、年間行事予定通りに二日外出を実施できたことがなく、そのほとんどをワークプレイセンターでのレクリエーションに変更で過ごしてきた利用者の皆さんにとって、この二日外出は、とても楽しみな行事でした。久しぶりの遠出ということで、テンション高めの皆さん。施設の前にバスが到着したただけで、空港に着いたかのような盛り上

がりの中で二日がスタートしました。普段の外出でも、なかなか空港に行く機会がなかった皆さん。展望デッキから間近に見える飛行機の大ささ、エンジン音にびつくり。そして、目の前で飛び立つ飛行機にくぎ付けでした。広い空港を歩いて回るのは、大変だったようですが、国際線、国内線と色々な飛行機を見たり、たくさんあるお土産屋を見て好きな物を購入でき、充実した時間を過ごせたようでした。駆け足であつという間に時間は過ぎましたが、利用者の皆さんの笑顔を見られて弾丸ツアーでも予定通りに実施でき良かったです。



空港の中に江戸の町並み?



飛行機がたくさんあるなあ〜(羽田)



点字学習の講習に聴き入る小学生

今年もSDGs活動の一つとして点字教室を開催しました。近隣の小学生を中心に十七名の方が参加して下さいました。はじめに点字の仕組みを学んだあと、実際に点字の文章を読んだり、打つ事に挑戦してもらいました。二時間半という短い時間でしたが、皆さんとても楽しそうに学ばれ、興味を持っていただけたと思います。



光の家の月本理事が館長を務めている「古代オリエント博物館」から「視覚障害者のための展示解説ツアー」と言う企画に招待を受け体験見学をしました。現在の中東地域におけるオリエント古代文明について、紀元前数千年前の実物のランプや様々な壺などに触れ、当時の様子や歴史を聞きながら想像を膨らませました。また、建物の壁になつていた土のブロックを触り、乳香の香りなども楽しむ事が出来、貴重な体験となりました。

この壺
大きいなあ～



フードフェスは外で食べれて楽しいなあ～♪



手作りピザは最高!!

方や保管場所、テント設置等防災の炊き出し訓練にもなっているかと思えます。職員全体で取り組む事で有事への対応も万全であります。

新型コロナウイルスの感染予防で外出も控えている期間で、外食気分を楽しめる企画を昨年より実施しました。様々な店を出店して自分で選んだものが食べられるようなまさにフードコートや、ご当地フードフェスティバル感覚な取り組みを行いました。企画が実現するまでの流れは「出来立てのものを食べて頂きたい」「天ぷらを揚げている音を聞かせてあげたい」「炭火での煙の香りを楽しんでほしい」との思いから食事課で話し合い実現にたどり着きました。唐揚げ、とんかつ、カレーライス、ピ

フードフェスティバル



ザ、寿司等、利用者からの要望が多い物を献立として取り入れました。調理員も前職での専門的な技術を出せる良い機会であることや、利用者との距離が近くなり信頼関係が一段と深まる良い時間となりました。今年度は昨年より変化を加え、パワーアップした内容で実施しています。最近ではデザートピザ、ご当地焼きそばが評判でした。設営についても開催場所の変更やプロパンガスの使い方や保管場所、



フードフェスは好きなものをいろいろ食べれてうれしいなあ～♪

第二十四回 障害者スポーツ大会

令和五年五月二十八日(日)・令和五年六月三日(土)
駒沢オリンピック公園総合運動場



「三年ぶり再開へ」新型コロナ
ナで延期されていた障害者ス
ポーツ大会が駒沢で行われま
した。感染症対策の一環として、
無観客での開催ですが、光の家
の利用者をはじめ、多くの方々
がメダル獲得を目指して、精二
杯競技に取り組みました。
今大会は各選手がエントリー
できる種目を、一種目のみとす

る制限がありました。しかし
出場した皆さんからは、「競技
に参加できて良かった。」「来年
はもっと練習して出場したい。」「
との前向きな意見が聞かれ、以
前のような開催状況には戻って
いませんが、スポーツを通して
身体を動かす喜びや楽しさ、選
手、関係者とのつながりを実
感できた大会になったと
感じました。
来年はぜひ通常開催
を期待したいと思います。



エイ!!



天までとどけ!



練習の成果が出ました!



メダルゲット!!



遠くに飛ばすゾー



全国大会出場への走り!



緊張のスタート!!

寄付者名簿

期間：令和五年五月八日〜
令和五年七月十八日

株式会社キュービットワタナベ様

ボールペン 三五〇〇本

河野清孝様

お米 一〇kg

中村修士様

じゃがいも 5kg

鈴木京子様

じゃがいも 七.5kg

綾木 潔様

すいか 一〇玉

土屋いち子様

すいか 四玉
カボチャ 5kg

河村 正様

アクエリアスゼロ 三〇本





豊田囃子



模擬店の様子



倭成太鼓



ダンスチームの踊り



花火



盆踊り

新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、旭が丘東公園での夏祭りを開催致しました。それまでは施設内で会場を作りカラオケや盆踊り、ゲームコーナー、夏祭り弁当等感染予防を徹底しながらの開催でした。久しぶりに提灯の下で踊る盆踊りや豊田囃子、倭成太鼓などの地域から参加して頂いている方々、また多くのボランティアの参加もあり盛大に実施することが出来ました。数年ぶりの会場設営で職員の戸惑いもありましたが地域の方々と触れ合う貴重な時間となりました。

2023 旭が丘ふれあい夏祭り

日時：令和五年七月二十九日(土)
会場：日野市旭が丘東公園



光バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル

2023 光バンドチャリティーコンサート
愛のサウンドフェスティバル

光 35周年
光バンド結成35周年

捧げるサウンド
地域を結ぶ

会場：心の煉瓦ホール(日野市民会館)

2023. 9.23 SAT
【開演】15:00 開場14:00 終演17:00

【お問い合わせ・申し込み先】社会福祉法人 東京光の家 〒191-0065 東京都日野市旭が丘1-17-17
TEL 042-581-2340 FAX 042-581-9568 <https://www.hikarinoie.org/> E-mail: info@hikarinoie.org

- ◆日時：令和五年九月二三日(土)
開場一四時・開演一五時
- ◆会場：心の煉瓦ホール(日野市民会館)
東京都日野市神明一―二―一
- ◆交通：JR中央線日野駅より徒歩一五分
バス：JR中央線日野駅から「高幡不動駅」行き、
または京王線高幡不動駅から「日野駅」行きに乗り、
「日野市役所」バス停下車
- ◆福祉協力券：一枚二、〇〇〇円(中学生以下は無料)
- ◆司会：高田 敏江(女優)
- ◆お問い合わせ先：社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四〇

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

発行 〒191-0065 東京都日野市旭が丘1-17-17
社会福祉法人 東京光の家 電話：042(581)2340 FAX：042(581)9568